

令和4年度けんせつ小町部会の取組内容について

【取組状況】

1 会議開催

- ・第1回（5月24日）：取組内容検討、けんせつ小町部会提言書の内容検討
- ・第2回（2月10日）：取組結果検証、次年度以降の取組計画の検討

2 けんせつ小町部会提言書交付式（7月7日）

これまでの活動を通して明らかになった課題を抽出し、その解決に向けて建設業界に関係する全ての方々に共有していただきたいことを提言として取りまとめ、部会長から岩手県建設産業団体連合会会長及び岩手県県土整備部長に対して提言書を交付しました。

提言書手交後の、上野会長から提言書の内容等について説明をして頂きました。

提言書の基本的なコンセプトは、性別や職歴に関係なく「誰もが働きやすい建設業界」を目指すものであり、業界の一層の発展を願うものです。

誰もが働きやすい建設業界の実現に向け、業界に従事する全ての方々と共に、意識改革を促す様々な行動に引き続き取り組んでいきます。

『けんせつ小町部会提言書』－誰もが働きやすい建設業界を目指して

提言1：建設業界への女性の定着に向けた理解の促進

提言2：働きやすい環境の整備

提言3：建設業のイメージアップと情報発信

その後の意見交換において、向井田建設産業団体連合会会長から「建設業界でも女性が活躍しているが、どの産業でも人手不足が深刻化している。提言書にもあるとおり、働く環境を整備して、今いる人材の定着・更なる人材の確保に取り組みたい。」とのコメントがありました。

また、田中県土整備部長から「建設業において、女性や若者をどう増やしていけるか、特に女性のライフイベントに応じた働き方をいかに確保していくかが重要な視点である。企業ができるところから改善していただき、それが積み重なることで岩手県の建設業全体が、女性が働きやすい、魅力ある企業として、更なる飛躍に繋がることを強く期待しています」との発言がありました。

意見交換後、工藤副会長から「現場の声を聞いて、積み重ねたものを提言にしたもの。女性が働きやすいこと＝誰もが働きやすい建設業界にしたい。誰もが働きたいと思う建設業界にしたい。」とのコメントを頂きました。

2 現場見学会(7月11日)

盛岡市の杜の大橋上部工工事、盛岡バスセンター建設工事の現場見学会を開催しました。

当日は、33名の女性職員の方が参加し、各工事現場の見学を行った後、当該現場で働く女性技術者を交えた意見交換会を行いました。

初めに、各工事の進捗状況、現場の安全対策について説明をいただいた後、実際の工事現場内を見学しました。

杜の大橋上部工工事現場は、1級河川雫石川に係るため、7月～9月の間は出水期のため休工中ではありましたが、橋のたもと付近から建設途中の現場を、間近で確認することができました。

盛岡バスセンター建設工事現場では、10月7日のオープンに向けて、各所で作業が進められていました。

また、夏季の熱中症対策として、現場に入る前に水分補給をさせる、休憩の都度水分補給ができるよう現場事務所敷地内と工事現場内に給水所を設置する等の配慮がされていました。

杜の大橋上部工工事現場での意見交換では、女性技術者の担当業務や、現場でのコミュニケーションの方法についてお話をいただきました。

また、女性技術者を含め若手技術者を育成するための会社としての取組などをお話いただき、それらの内容について意見交換を行いました。

盛岡バスセンター建設工事の施工者である樋下建設・昭栄建設特定共同企業体の女性技術者との意見交換では、建設業界に入った理由について尋ねると、幼い頃に自宅を建築しているのを見て興味を持った、何もない状態から建物が出来上がっていく行程が面白かったなど、「建設業という仕事が面白い」という気持ちが伝わってきました。

現場では、挨拶、言葉づかい、笑顔、そしてわからないことは先輩にきくことを心掛けているとのことでした。

このように多くの若手女性技術者が建設現場で働いている様子を見て、「非常に心強かった」、「女性技術者が生き生きと働いている姿をみて刺激を受けた」など、好意的な意見をいただきました。



3 女性活躍推進講座の開催（7月26日）

「建設業で働きやすい職場環境づくりに向けて」をテーマに女性活躍推進講座を開催し、経営者・管理者を含む39名の方が出席されました。

人材不足や技術者の高齢化から、若手・女性とのコミュニケーションをとる上で、ハラスメントを念頭においた対応が求められています。

建設業を取り巻く環境の変化に対応するために必要な知識と、企業として実践すべき取組や、取組を行う上での留意点について、講師から説明がありました。

講師であるクロズテック株の黒図氏自身も、建設業を営んでおり、御自身の会社での取組や経験を踏まえての説明であり、非常に分かりやすい内容でした。

今後も、建設企業の方々のニーズを把握しながら、研修を開催していくこととします。

4 いわて建設業みらいフォーラムへの参加（11月1日）

いわて建設業みらいフォーラムは、県民の安全で安心な暮らしに果たす建設業の役割やその魅力を積極的に発信することで、建設業のイメージアップを図り、次世代を担う若者をはじめとした県民の建設業への理解や関心を高めることを目的としたもので、今回で9回目の開催となります。

けんせつ小町部会では、令和2年度から実施している取組として、主に県内の工業高校の生徒を対象に、女子生徒が抱える建設業に関する様々な疑問を先輩技術者に相談できるコーナーを設置しています。

令和4年度も、上野会長、木下委員に相談対応を行っていただきました。

参加者からは、「建設業と聞くとどうしても男性が思いうかび女性には難しいと考えていましたが、建設業で働く女性の意見も聞くことができ、建設業もいいなと思えました」、「建設現場は厳しい環境のイメージが強かったけど、実際は設備も整っていて休みもあり良い環境になっていて、仕事がしやすい環境だとわかりました」といった感想をいただきました。

今後も、機会を捉えて建設業のイメージアップと、高校生等の建設業への入職促進のための取組を継続していきます。

5 工業高校の生徒を対象とした交流会

建設業のイメージアップによる県内建設企業への入職促進を目的に、盛岡工業高校土木科1年生を対象に、けんせつ小町部会委員及び女性技術者との意見交換会と併せてDX体験学習会を開催しました。

このDX体験学習会は、東北地方整備局が事務局となっている東北復興DX・i-Construction 連絡調整会議の取組の一環として、建設業の次世代を担う学生に対し、建設業への関心を深め、魅力を伝えるための体験学習会を実施しているもので、このDX体験学習会の開催は県内の高等学校では初めてとなります。

DX体験学習会では、3D点群データ作成、MR（複合現実）、VR（仮想現実）、遠隔臨場の4班に分かれてDXを体験しました。

体験を終えた生徒からは、「将来、就職した時に、VRを橋の建築に活かしたい」、「鉄筋の強度不足を調べたり、橋の完成像をVRで確認するなど、将来の仕事に活かしたい」といった感想があげられました。

意見交換会では、5班に分かれて各班に2名の先輩方（管理職、技術職）を配置し、『魅力ある建設業に向けて』をテーマに、意見交換を行いました。

進学前後で自分がイメージしていた「建設業」について、変化があったかとの質問に対して、休みが少ない、きついといったイメージであったが、実際に先輩方からお話をきいて、思っていたよりも休みがとれること、危険なイメージが少し減ったといったコメントがありました。また、自分たちが知らない建設業の一面を知ることができた、在学中に資格を取得しておくべきと思ったなど、前向きな意見もありました。

仕事は大変だけど、その分やりがいがたくさんあることなど、先輩方からの意見交換で、得ることがたくさんあったようです。

最後に、上野会長から「建設業に対して、どんな思いを描いているのか知ることができました。いただいた意見を参考に、今以上に誰もが働きやすい建設業を目指し、夢と希望をもって建設業界で働くことができるように取り組んでいきたいです」との力強いコメントをいただきました。

盛岡工業高校の生徒さんから、意見交換会のため事前アンケートを依頼しており、回答いただきました（参考資料を参照）。

また、DX体験学習会・意見交換会終了後にアンケートの御協力をお願いし、調査結果を別紙に添付しております。

【DX体験学習会】



【意見交換会】



6 その他活動報告

令和4年8月9日：令和4年度第1回いわて女性の活躍促進連携会議に上野委員が参加し、令和4年度のけんせつ小町部会の取組内容を説明

令和5年2月10日：令和4年度第2回いわて女性の活躍促進連携会議に上野委員が参加し、けんせつ小町部会の取組成果と課題等を説明

7 取組成果及び課題

① 取組内容及び参加者数

令和4年度の取組については、年度当初に予定していた取組について実施することができました。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況をみながら、感染症予防対策を行ったうえで、事業を実施していきたいと考えています。

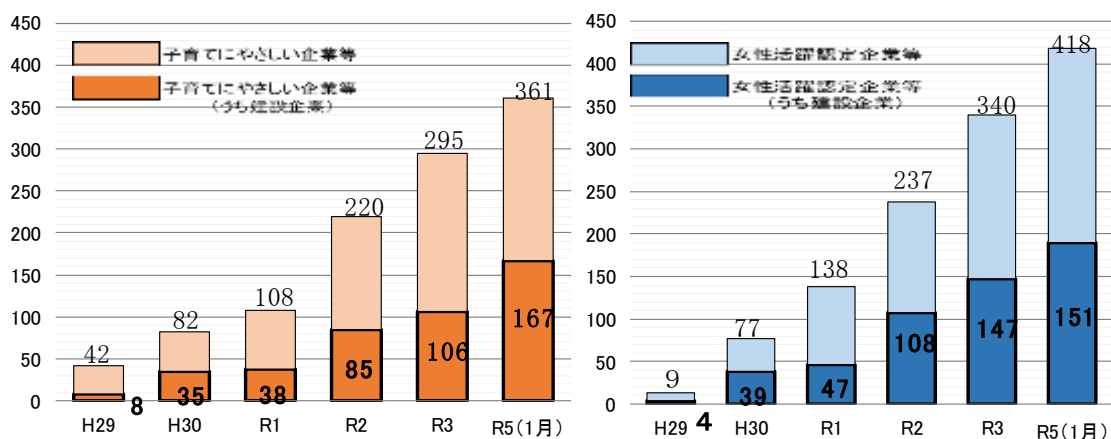
令和3年度		令和4年度	
研修会 (経営者向け)	49人	研修会 (経営者向け)	39人
講習会・生徒との 意見交換会(中止)	—	講習会・生徒との意 見交換会	49人
いわて建設業みらい フォーラムへの 参加(→中止)	—	いわて建設業みらい フォーラムへの参加	2人
現場見学会	33人	現場見学会	33人
合計	82人	合計	123人

③ 「いわて女性活躍認定企業等」や「いわて子育てにやさしい企業等」の建設企業の認定数の状況

岩手県では、「いわて子育てにやさしい企業等認証」や「いわて女性活躍認定企業等(ステップ2)」の認定制度を設置していますが、研修会等で認定制度を周知することにより、建設企業で標記認定を受ける企業が令和3年度まで年々増加しています。

令和4年度(1月時点)の登録企業数は、それぞれ112社、127社となっており、建設企業の意識の醸成が進展しているといえます。

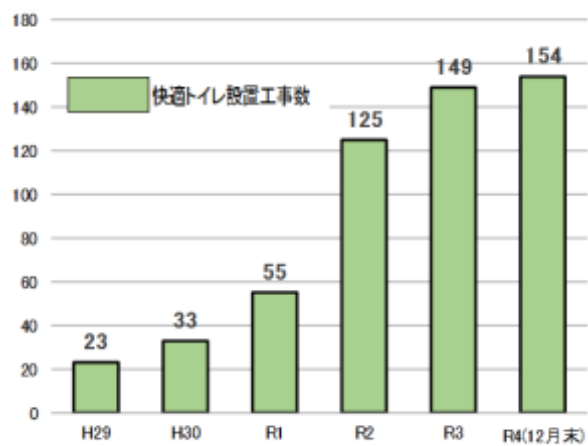
認定を受けたことでの効果等について令和3年度にアンケート調査を実施したところ、次に掲げるような効果を実感する回答があったことから、引き続き、制度を周知するとともに、誰もが働きやすい職場環境の整備促進に努めています。



【子育てに優しい企業等及び女性活躍認定企業等の推移】

④ 岩手県県土整備部が所管する県営建設工事
の建設現場における快適トイレ設置工事数

県所管の県営建設工事の建設現場において、
男女ともに働きやすい環境とするため、快適ト
イレの設置費用を計上していますが、設置工事
数が増加傾向にあります。



○ 令和5年度 けんせつ小町部会の取組

1 けんせつ小町部会の活動について

けんせつ小町部会では、岩手県の建設業界で働く女性の職場環境改善や活躍促進に関する取組を岩手県建設産業団体連合会と連携し現場で働く女性社員の声を直接聞き取り県の施策へ反映させるとともに、活動を通じて各企業等の女性活躍推進の取組につなげることを目指し取り組んできました。

また、令和4年度には、これまでの活動を通じて明らかになった課題を抽出し、その解決に向けて建設業界に関係する全ての方々に共有していききたいことを「けんせつ小町部会提言書」にとりまとめたところです。

今後は、これまでの取組に加え、提言書に掲げる、性別や職歴に関係なく「誰もが働きやすい建設業界」の実現に向けて、提言書に記載した取組内容を、部会・県・建設業界の方々と共に実施していくこととしています。

これらの取組を進めるため、まずは、これまでの現場見学会、研修会及び意見交換会等の活動を踏まえ、参加した企業が取組事例を参考とした各職場における環境改善等の取組状況を把握するためアンケート調査を行いたいと考えています。

2 令和5年度の取組(案)

これまでの取組内容を基本としながら、提言書で定めた取組を実施していきます。

(1) 会議

- ・令和5年度の取組内容、検証
- ・提言書に記載した部会・県・建設業界が取り組む内容について目標値を設定(新規)

(2) 現場見学会

- ・女性技術者等が配置された建設現場の見学・意見交換の実施【継続】
- (3) 講習会・研修会・事例発表会
- ・建設企業のニーズに応じた内容の研修会と併せて事例発表会を開催(本研修会については、いわて女性活躍企業等の認定要件となる「女性活躍関連セミナー」及び「女性のキャリア形成につながる研修」に該当させる)【継続・一部新規】

(4) 魅力発信の取組

- ・工業高校等との交流会、いわて建設業みらいフォーラムでの相談対応の実施【継続】

〈活動予定〉

期 日	行事名・内容等
令和5年 4月中旬～5月中旬	けんせつ小町部会会員企業等に対する、職場環境改善等の取組に関するアンケート調査
5月下旬～6月上旬	けんせつ小町部会令和5年度第1回会議
10月下旬～11月上旬	「いわて建設業みらいフォーラム」
令和6年1月～2月	けんせつ小町部会令和5年度第2回会議
○開催時期等の検討	・現場見学会 ・講習会・事例発表会 ・工業高校生との意見交換会

